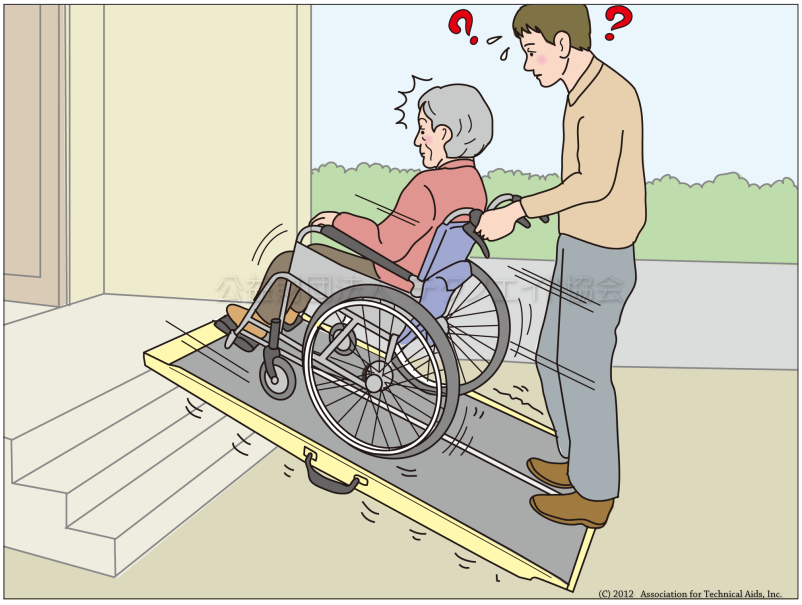
Case：221

裏表を間違えて設置していたため、スロープがガタつく

場面の説明

スロープ面を裏表反対に設置して走行したため、スロープがガタついた



利用シーン	移動 階段の昇り降り 外出
主な利用場所	階段 玄関 段差・縁石
介護保険の種目	スロープ
分類コード(CCTA95)	183015(携帯用スロープ)
介護テクノロジー	―
二次元バーコード	

解説

裏面にはすべり止めの加工はなされておらず、また上端、下端には段差ができ、キャスタが引っかかりやすくなるなど、すべりそうになること以外にも不都合な点があります。注意すれば防げることですので、あわてずに確認するように心がけてください。

参考要因

人：よく確認せずにスロープを設置した
人：普段スロープを使わない人に設置をお願いした
モノ：裏面でも走行出来てしまう構造だった

Copyright 2000-2012 Association for Technical Aids, Inc. All rights reserved.